

ネイティブ・サーモマイクロビア属 Hesperidinase (Rhamnosidase B)

Cat. No. NATE-0341

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 熱安定性 α -L-ラムノシダーゼは、末端のL (+)-ラムノースとラムノース含有グリコシドのアグ

リコンとの間の結合を切断する触媒です。この酵素はナリンギンにも非常に活性です。L-ラムノースまたはその誘導体は適切なキラル構造成分であり、医□品、植物保護剤の合成や食品お

よび香水産業における香料の調製に使用できます。

製品情報

由来 サーモマイクロビア属

最適温度 酵素は比較的広い温度範□ (45-75°C) で活性があり、最適温度は約65°Cです。

特異性 α-L-ラムノース残基の末端非還元型の加水分解、α-L-ラムノシド、ナリンギン、ヘスペリジン

およびルチン。

単位定義 酵素活性の1単位(U)は、1分あたり1 μ molのp-ニトロフェニル- α -L-ラムノピラノシド

(pnpR) の放出を引き起こす量です。